

# 雪国あおもりの暮らしを支える道づくり

## ■対象事業の目的:

冬期間において安全で快適な歩行者空間を確保し、冬期バリアフリー対策に資する消融雪施設の整備のほか、安全で円滑な冬期道路交通を確保するとともに、地域経済圏の連携強化を図るための堆雪幅の確保・防雪施設の整備である。



### 要素事業

- ◆防雪柵→地吹雪による視界不良の解消
- ◆堆雪幅→雪寄せスペースの確保
- ◆歩道消融雪、流雪溝→安全安心な歩行者空間の確保
- ◆雪崩予防柵→雪崩による交通障害の予防

■事業期間:平成16年度～平成19年度(4年間)

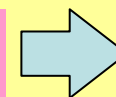
## ■成果目標:

雪道安全空間確保延長(※)の増加率  
 (※)流雪溝・防雪柵・路面融雪装置などで積雪期も道路空間が確保される延長

## ■指標の現況値および目標値:

当初現況値 (H16当初)	中間目標値 (H17末)	長期目標値 (H19末)
100.0%	110.1%	119.7%

長期実績値 (H19末) : 122.0%



目標達成

# 成果目標 : 雪道安全空間確保延長の増加

## ■防雪柵

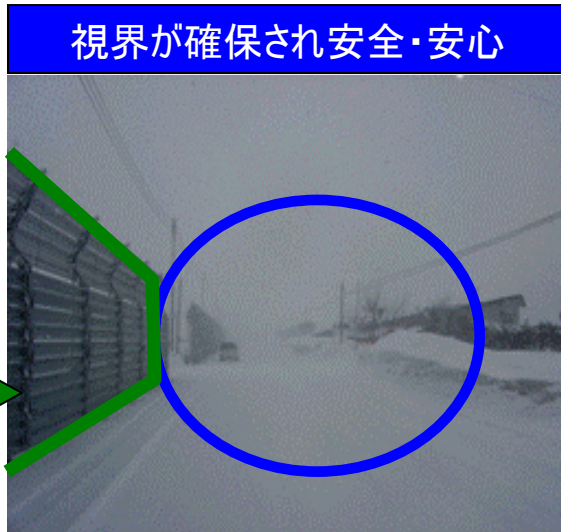
岩崎西目屋弘前線(弘前市中畑～櫻庭)  
事業期間:平成16年度～平成17年度



地吹雪により視界不良で  
前が見えず、とても危険



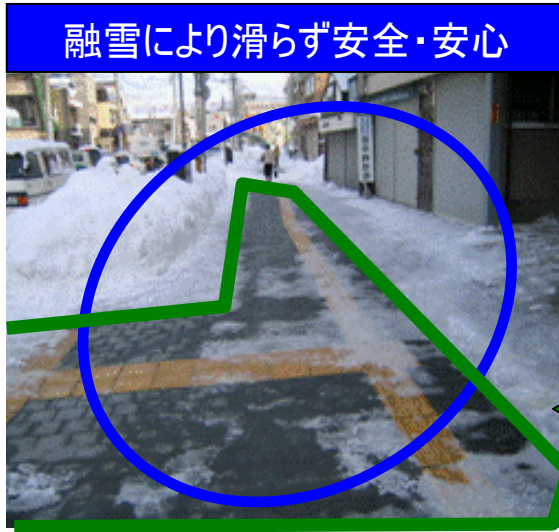
防雪柵



防雪柵の設置による地吹雪による視界不良解消  
→車両交通の安全が確保されている延長が1km増加

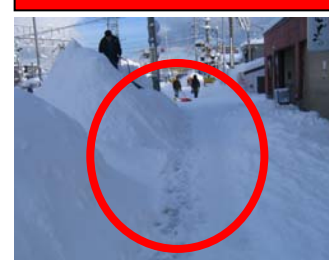
## ■歩道部無散水消雪施設(地熱ヒートパイプ)

青森環状野内線(青森市北金沢)  
事業期間:平成16年度～平成18年度



歩道融雪の整備により歩行者空間が確保  
→歩行者の安全が確保されている延長が700m増加

積雪により足下が滑り、  
とても危険



ヒートパイプ